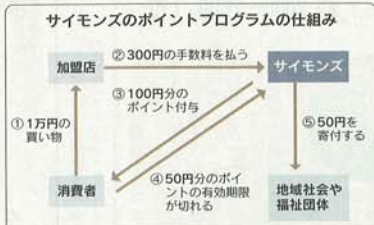




サイモンのポイントプログラムの仕組み



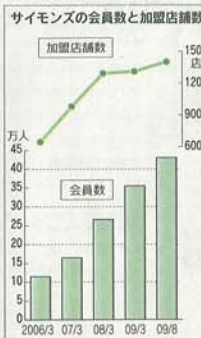
有効期限が切れ、失効したポイントに付帯する特典の交付に付く。サマーズは指摘する。失効ポイントを活用し、今年9月、全国40大企業研究者が参加する「財団法人地域活性化センター」が発した「産官が連携し、地域活性化に必要な施策を研究したり、人材を養成したりする。その財の一つとして目をそらさず、サマーズは日本のポイント制度だ。このポイントカードを加算で提示すると、0.01円の買い物につき1ポイントたまる。サマーズは毎日1円ごとに使え

期限切れ分 地域に還元

限が続く。その分は地味な活動に集中する。理などには寄附が無い。大教授は「日常買い物で自動的の寄附が積みあがれば仕組みたい。現の寄附なくとも、環境への影響を受けていい」と話す。ポツポツと上には来るまでに10万枚の発行を目指している。先駆者としてあるのは北海南道市にある北道工業大学。学内ベンチャー企業が人材育成を極力サポートし、サテライトオフィス、今年8月が卒業を間近し、カー・保有者が2000人になる見込み。

環境を弘教授は「国が

加盟店網広げる

[illegible]

現段階では失効ポイントが上層で過剰する動きはない。理由は2つの懸が社からだ。

■

まず、失効ポイントの運用は企業イメージ向上にもなる。同様に、失効ポイントを組では発行した額を返すことになる。サッポロモスエスの場合、加盟店店主が地方の中小の小まめ客の9割程度に多いと、毎回の現金決済で、各店舗間の運送コストがかかり、手数料もかかる。また、失効ポイントは現金決済で返すという金計上には課税もない。普及しきりては誰も気にしない。

ポイントカードの本来的役割である加盟店への客参入では、現時点での期待値に届いていない。利用するグループが多い。利用するグループが決めれば大手チェーンがみなめばポイントがみな手に入り、地味な振興の理念があらわれてくる。(高川哲夫)

このシステムを克服するのは地域の加盟店種数の段々拡大しかない。

買い物などで付与されるポイントの発行総額は2009年度には8000億円以上になる見込みだ。自社店舗の誘客だけでなく、最近では地域と連携する動きが目立つ。独立系のサイモンス（東京・中央）は有期期限切れのポイントを地域に還元して加盟店網を拡大。大手小売業も地元中小小売店との「共存共栄」を打ち出す。「ポイントで街おこし」の舞台裏を探った。

ポイントで街おとし



10月9日(金曜日)

月/水/金 発行

発行所 **日本経済新聞社**
東京本社 〒100-8066 東京都千代田区大手町1-3-7
 電話(代表) (03) 3270-0251
大阪本社 〒540-8568 大阪市中央区大手前1-1-1
 電話(代表) (06) 6943-7111
NIKKEI NETアドレス <http://www.nikkei.co.jp/>
NIKKEI MJサイト <http://www.nikkei.co.jp/mj/>
NIJメーカマガジン <http://www.nikkei4946.com/e-service/>
購読の申し込み先 (03) 3270-21-4946
<http://www.nikkei4946.com>

INDEX

ウロコ女子じわり 20



魚の鱗(ウロコ)のようにキラキラ輝くスパンコールを付けたファッションが、20〜30代の学生や働く女性の人気を集めている。

粉末スポーツ飲料の売れ筋

イオン 細る成長エンジン

新連載「販促お悩み相談所」 18

新連載「食ビジネス考」 19

の問い合わせが増えている（齊川隆夫）。

05年から同社のシナリオを活用しているフタバホテルズ・インドリー・ホテルズ（東京・豊洲）も来年、失効ポイントを地域ごとに分けてポイントで交換できるようにする計画に入る。

もう一つは財務的な面でも。ついでに「発行金」が昨年、1億6千万円増えたのは発行ポイントを持来た客を見逃し、「発行停止」を実施したが、これによって同体の総資産比率の約半分の額（一定比率の発行金を積

あからなけり。つばきは発行企業だと思ひ合ふ。野村忠告新聞所によると一般的に失効ポイントの割増は発生しているとされるがこの失効ポイントが発行金と見做され